

公益財団法人秋田県国際交流協会

令和 7 (2025) 年度 事業報告

I 主な公益目的事業の実施状況

1 多文化共生社会の推進

1-1 外国人相談センターの運営

(1) 外国人相談センターでの相談対応（県受託事業）

在住外国人の総合相談窓口として協会内に設置している「外国人相談センター」において、日常生活における相談等について、多言語（日本語、中国語、英語、韓国語、タガログ語、ベトナム語）で対応した。

【相談受付数】 325件（前年比 49件増）

（p.15「外国人相談センターにおける相談実績」参照）

また、専門的な知識・知見等が必要な相談に対応するため、弁護士や行政書士による「外国人のための専門相談会」を6回開催した。

【専門相談受付数】 4件（起業に関すること、離婚問題 など）（前年比 4件減）

(2) 地域外国人相談員による相談対応（県受託事業）

県内各地域における相談対応については、県が委嘱している地域外国人相談員（9名）が実施しているが、令和7年度は、3名の相談員が新任となった影響もあってか、相談活動の件数は前年に比べ大きく減少した。

【活動件数】 144件（前年比 135件減）

（p.16「地域外国人相談員の活動状況（地区別集計）」参照）

また、相談員と市町村担当職員を対象にした「地域外国人相談員連絡会議」を開催し、相談事例に係る情報の共有や先進事例等の紹介を交えたセミナーを開催するなどして、相談体制の充実に努めた。

【開催日時】 第1回：令和7年 5月30日（金） ※相談員のみ対象

第2回：令和7年12月10日（水） 出席者数 25名（市町村職員含む）

第3回：令和8年 3月19日（木） ※相談員のみ対象

1-2 災害時の外国人支援

外国人を雇用する県内企業や、日本語教室、外国人住民の対応に当たる自治体窓口等へ希望に応じて防災グッズを配付し、防災に対する外国人住民の意識啓発に努めた。

- ▶ 防災グッズ：Help カード、防災手ぬぐい、エマージェンシーボトルキット など
- ▶ 防災グッズ配布先：18団体（前年比 2団体増）



また、秋田魁新報社が主催する「2025 AKITA 防災キャンプフェス」に在住外国人と共に参加し、「やさしい日本語」の周知活動を行ったほか、様々な自然災害の特徴や備えについてまとめた「外国人のための防災ハンドブック」のミャンマー語版を新たに発行した。

このほか、近年、急増しているクマの目撃情報や人身被害について注意喚起を行うため、多言語でリーフレットを作成した（令和8年度中に配布予定）。

▶「2025 AKITA 防災キャンプフェス」

【開催日】令和7年9月27日(土)～28日(日) 10:00～16:00（両日とも）

【開催会場】日本赤十字東北看護大学グラウンド及び校舎内

【協会ブースへの来訪者数】174名（前年比60名減）

▶「外国人のための防災ハンドブック（ミャンマー語版）」 発行数：200部



▶「クマに注意しましょう！」（日本語を含む7か国語） 作成部数：2,100部



1-3 多文化共生を推進する人材の確保

（1）A I Aコミュニティサポーターバンクの運営

在住外国人の支援及び県民の国際理解の推進を図るために、語学力や異文化について理解がある県民等を「A I Aコミュニティサポーター」として登録し、通訳・翻訳・文化紹介などの依頼に応じて派遣した。

※登録数は年度末時点

▶ A I Aコミュニティサポーター登録者数 195名（前年比3名増）

活動実績	通訳・翻訳 依頼件数	11件	前年比 3件減
	〃 派遣人数	11名（延べ）	〃 12件減
	文化紹介 依頼件数	9件	〃 4件増
	〃 派遣人数	20名（延べ）	〃 10名増

(2) 各種ボランティアの募集と紹介

秋田県内の大学等に所属する留学生に日本文化や秋田の家庭の日常生活を体験してもらうための「ホストファミリー（あきたのファミリー）ボランティア」、日本語での会話力の向上や地域住民との交流を希望する外国出身者の会話のパートナーとなる「（にほんごで）おはなしボランティア」をそれぞれ募集・登録し、マッチングを行った。

- ▶ 「おはなしボランティア」登録者に対しては、今年度アンケートを実施し、活動継続の意思等を確認した上、登録情報を精査・整理した。

※登録数はいずれも年度末時点

【登録者数】おはなしボランティア 30名（精査前 122名）

イベントボランティア 35名

【マッチング数】26組（前年比 13件増）

- ▶ 「あきたのファミリーボランティア」登録者についてもアンケートを実施し、活動継続の意思等を確認した上、登録情報を精査・整理した。

【登録家族数】34家族（精査前 90家族）

【マッチング数】15組（前年比 6件増）

- ▶ あきたのファミリー交流会：ホストファミリーと留学生あるいはホストファミリー同士の交流を促進するとともに、ホストファミリーに関心のある県民の登録につなげるため、年末に秋田市内において交流会を開催した。

【参加者数】27名（うち ホストファミリー登録家族 1家族）

【実施内容】県の国際交流員（CIR）が講師となり、韓国でのお正月の過ごし方をテーマに取り上げ、韓国の正月料理の試食や、伝統的な正月遊びを体験してもらったなどした。

1-4 職場訪問／インターンシップの受入

児童・生徒や学生、及び教員からの職場訪問やインターンシップ等の希望に対応し、協会の事業内容の説明のほか、国際協力や多文化共生に係る情報提供等を行い、理解の促進を図った。

対応状況	受入件数 10件（前年比1件増）	受入人数 32名（前年比18名増）
職場訪問	5件（中学1，高校2，短大1，大学院1）	26名（中学9，高校5，短大6，大学院6）
インターンシップ	4件（高校3，大学1）	5名（高校4，大学1）
教員研修	1件（高校1）	1名 ※秋田県教委からの依頼による
受入時の様子	 	

1-5 人材育成事業

(1) A I Aコミュニティサポーター、A I Aボランティアの研修

A I Aコミュニティサポーター及びA I Aボランティアを対象に、実践で役立つ通訳・翻訳技術の向上等を目的に研修会を開催した。

翻訳研修会	開催期間	令和8年1月28日～2月20日（通信添削形式）
	対象言語	英語、中国語、韓国語
	研修内容	〔課題〕 ① 県営住宅に関する説明文の翻訳実践 ② クマに関する注意喚起の翻訳実践
	参加者数	延べ11名（前年比 3名減）
通訳研修会	開催日時	令和8年3月21日（土）13:30～16:00
	会場	アトリオン7階「くらしの研修室」
	講師	岩田 久美（フリーランス スペイン語通訳者）
	研修内容	通訳技術訓練法の紹介、通訳実践（ロールプレイ）
	参加者数	14名（前年比 3名減）

(2) あきた日本語サポーターの登録

外国人に日本語を教えられる者や日本語教育に関心のある者を「あきた日本語サポーター」として登録し、日本語学習支援者を必要としている企業や外国人住民とのマッチングを行った。

【登録者数】 160名（前年比 14名増）

※登録数は年度末時点

【マッチング数】 6組（前年比 4件増）

1-6 日本語教育支援の充実・強化（県受託事業）

(1) 市町村の実状を把握するための巡回・調査

日本語教室が開催されていない空白地域の市町村を中心に、協会内に配置された地域日本語教育総括コーディネーター（CD）が訪問し、ヒアリング等を行った。

【実施期間】 令和7年5月～10月

【訪問先等】 市町村 9件、県内企業・団体等 3件

(2) 日本語学習支援に関する情報発信

在住外国人等に日本語学習支援に関する情報を効率的に周知するため、専用ウェブサイトを作成する計画であったが、財源となる国の補助金の交付額が削減されたため、次年度に繰り越すこととした。

こうしたことから、「現職日本語教師研修プログラム普及事業」（文部科学省）に関する情報などについては、協会のウェブサイトやSNS、あきた日本語サポーターのメーリングリストを活用して周知した。

(3) 日本語学習支援者の養成

日本語学習支援者が必要な知識・技能・専門性を養うことのできる講座を、初心者向けと経

験者向けに分け、対面とオンライン（リアルタイム（Zoom）とオンデマンド（YouTube））によるハイブリッド形式で開催した。

※参加者数は延べ人数

	基礎講座（初心者向け）	専門講座（経験者向け）
期 日	10月18日(土)、10月25日(土)	11月1日(土)、11月8日(土)
会 場	北秋田市合川公民館	横手市交流センターY ² ぷらざ
参加者	会場 18名、Zoom 10名、YouTube 33名	会場 24名、Zoom 4名、YouTube 21名
内 容	・日本語教育って何をするの？ ・異文化コミュニケーションってどんなもの？ ・地域日本語教室ってどんなところ？ ・地域に住む外国の方と話してみよう！	・最近の日本語教育事情とは？ ・地域日本語教室事例紹介 ・課題遂行型の日本語教育へ ・指導・フィードバックのコツ
講座の様子		

（４）日本語教育人材バンクの運用

日本語教育人材の活躍・活用を促進するため、資格や支援経験、研修受講歴等に基づくランク付けを基準に人材登録を行い、日本語教室、企業、外国人等の依頼に応じてマッチングできるように、日本語学習支援者の体系的な研修制度と組み合わせた人材バンクの運用方法等について、主に以下のメンバーにより検討を行った。

- ・国際教養大学 准教授 嶋 ちはる
- ・(公財)ひろしま国際センター 日本語非常勤講師 犬養 康弘
- ・のしろ日本語学習会 代表 北川 裕子
- ・地域日本語教育総括CD 平田 友香

（５）やさしい日本語の普及・啓発

日本語学習支援の質の向上を図るとともに、在住外国人との円滑なコミュニケーションの推進に役立つ「やさしい日本語」の普及・啓発を図るため、自治体、一般県民、企業等を対象に県内8カ所で研修会を開催した。

【参加者合計】228名

開催日	開催地	参加者	開催日	開催地	参加者
6月27日(金)	秋 田 市	57名	11月12日(水)	北秋田市	15名
7月23日(水)	小 坂 町	22名	12月17日(水)	大 仙 市	29名
8月28日(木)	八 峰 町	22名	1月21日(水)	能 代 市	25名
10月16日(木)	にかほ市	34名	2月4日(水)	五城目町	24名



秋田市会場



大仙市会場



能代市会場

2 民間団体等の活動の活性化

2-1 連携・協力のための情報収集と情報提供

○ あきた国際活動民間団体ネットワーク（あきたエアネット）の運営

県内で国際交流や国際協力、多文化共生等の活動を行う団体に対し、「あきたエアネット」への登録を促したほか、登録団体からは活動報告書の提供を求め現状を把握するとともに、協会のウェブサイト上で公開し、広く県民へ向け情報発信した。

【登録団体数】 72 団体（前年比 1 団体増）

2-2 活動への助成事業

○ 国際活動助成金の交付

県内で国際交流や国際理解、国際協力等の多文化共生に係る取組と認められる活動を行っている民間団体に対し、申請に基づき内部審査を行った上、イベント開催等の活動経費の一部を助成した。

【助成上限額】 5 万円／団体

【交付団体数】 7 団体（内訳：p. 17「国際活動助成金交付事業の実績」参照）

【交付額合計】 348,817 円（前年度実績 5 団体、280,000 円）



トリニダード・トバゴ等の料理教室
（開催地：由利本荘市）



アフリカの文化紹介イベント
（開催地：秋田市）



インドネシア民謡の演奏
（開催地：秋田市）

3 国際交流に関する情報や機会の提供

3-1 多様な媒体による多言語での情報発信

外国人住民が県内（国内）で生活していく上で役立つ情報を掲載した情報誌「えいあいえい!!!」を、日本語に外国語（6カ国語）を併記して発行した。

【発行部数】1,347部（中国語：328部、英語：341部、韓国語：294部、タガログ語：324部、ベトナム語：324部、インドネシア語：324部）

【メール通知数】116通（HP掲載先リンク送信）

【発行回数】1回（第28号；R8年2月発行）

【掲載内容】いろいろな法律（道交法、子ども・子育て支援法）の改正について

【配布先】日本語教室、自治体及び教育機関、ネットワーク団体、民間集客施設、県内各大学、賛助会員等



また、ホームページやフェイスブック、インスタグラム等のネットワーク媒体を活用して、協会の活動内容を随時紹介したほか、県内の市町村や国際交流団体が実施するイベントなど、国際交流に関する情報なども広く発信した。

〔 〕内は前年度末の数値

	フェイスブック	インスタグラム	協会ウェブサイト
フォロワー数	1,214 [1,196]	588 [419]	ユニークユーザー数※
リーチ数	10,441 [14,362]	7,433 [5,890]	38,031 [28,813]

※ユニークユーザー(UU)数：特定の期間内に1度以上サイトへ訪問した人数。同じユーザーが何度サイトを訪れてもUU数は1となる。

3-2 異文化交流スペースの運営管理

- ▶ 毎月第2、第4木曜日、協会内に県CIRやコミュニティサポーターが待機し、県民と気軽に懇談・交流しながら異文化理解が深まるよう、「インターナショナルデイ」を開催した。

【インターナショナルデイ参加者数】154名（延べ人数）

- ▶ 県内の小・中・高校生が外国人住民と気軽に異文化交流を体験できるよう、夏休み期間中、秋田市内で「特別版インターナショナルデイ」を開催したほか、秋田市以外での交流機会の提供を目的に、今年度は県南エリア（横手市）で「出張インターナショナルデイ」を開催した。

夏の特別版インターナショナルデイ		
参加者	小学生 24名	中学・高校生 18名
開催日時	令和7年8月23日（土） 14:00～16:00	令和7年8月8日（金） 14:00～16:00
会場	アトリオン地下1階 イベント広場	秋田市文化創造館1階 コミュニティスペース
内容	外国出身者（インドネシア）による文化紹介、ダンス体験など	外国出身者（アメリカ、中国、韓国、ベトナム、モンゴル）による文化紹介と交流

出張インターナショナルデイ in 横手			
開催日時	令和7年12月13日(土) 13:30～15:30	参加者	25名
会 場	横手市生涯学習館「Ao-na(あおな)」1階 スタジオ「NEMATTE かま蔵」		
内 容	・フィリピン、ニュージーランド出身者による自国の文化紹介 ・ニュージーランドで広く親しまれている「ティラカウ」(スティックを使ったマオリの伝統的な遊び)体験と、各テーブルに分かれての外国人住民との交流		



秋田市文化創造館(中・高校生向け)



横手市生涯学習館(出張版)

- ▶ 民族衣装や国旗を貸し出したほか、外国の文化を紹介する企画展示などを行った。

【民族衣装貸出】3件(前年比 1件減)

【国旗貸出】6件(前年比 2件減)

3-3 あきた国際フェスティバル2025

普段は交流機会の少ない外国人住民と県民が触れ合い、互いの理解を深める機会を創出することを目的に実施しているイベントであり、通算35回目の開催となった。

開催日時	令和7年10月5日(日) 10:00～16:00
会 場	あきた拠点センターALVE 1階「きらめき広場」
共 催	独立行政法人国際協力機構(JICA) 東北支部
ブース数	33ブース(国際交流団体、国際協力団体等)
来場者数	1,214名(前年比 24名増)
参加者数	1,401名(出演者、ボランティア、スタッフ等含む)
内 容	○ ステージパフォーマンス(8団体・個人) ○ 世界の文化紹介(21の国・地域) ○ 国際交流団体の活動紹介(11団体) ○ クイズラリー(景品あり) ○ 小学生向けワークショップ(ネパールの国花「シャクナゲ」作り) ○ 国際協力機構(JICA)の活動紹介 ○ 多文化共生・日本語教育に関するパネル展示 ○ キッチンカー出店(屋外に4店舗)

※概要は別添「事業報告書」に記載



ステージパフォーマンス



イベント会場全景

3-4 中国甘肅省からの技術研修員の受入（県受託事業）

本県と友好関係にある中国甘肅省から自然・環境保全等の分野に関する専門職員1名を研修員として受け入れ、県内の関係機関や事業所等への訪問のほか、県内の伝統文化関連施設等への訪問を企画・アレンジし、協会職員が案内・随行した。

【受入期間】令和7年9月18日(水)～10月18日(土)

【研修員名】薛麗洋（セツ レイヨウ）

【所属先・職名】甘肅省自然生態環境部 緊急対応・事故調査センター 主席研究員

【主な研修先】秋田県健康環境センター、エコシステム秋田(株)、小坂精練(株)、秋田市総合環境センター、男鹿真山伝承館、角館樺細工伝承館 など

※概要は別添「実施報告（抜粋版）」に記載



リサイクル関連事業所での研修



公共下水道施設での研修

4 業務執行・管理体制の強化

4-1 協会体制の強化

(1) 人員配置

秋田県から受託した日本語教育環境整備推進事業（4カ年）の円滑な実施・運営に向け、同事業の予算に基づき、令和7年4月より、協会内に事業の推進役を担う人材を1名配置した。

○ 地域日本語教育総括コーディネーター 平田 友香

（国際教養大学 日本語プログラム 非常勤講師）

(2) 待遇改善

- ▶ 令和3年度及び令和6年度に改正された「育児・介護休業法」の適用と、協会職員の育児休業取得（令和7年8月～）に適切に対応するため、協会の「育児・介護休業等に関する規程」を大幅に見直し、7月に改正した。
- ▶ 令和7年10月に秋田県職員給与の改定（4月1日より適用）が行われたことから、協会の内規に基づき、職員の賃金についても12月に年俸等の改定（引上げ幅2.4～4.16%）を行い、就労意欲等の向上を図った。

(3) 賛助会員

（人・団体）

	令和8年 3月末	令和7年 3月末	増減	入会	退会	
					退会届	会費未納等
個人会員	14	21	△7	0	3	4
団体会員	36	40	△4	0	1	3
合 計	50	61	△11	0	4	7

※年会費：個人 3千円/口、法人 1万円/口

4-2 協会事業の周知等

協会のイベント等について、県内市町村の広報や報道機関を活用してPRに努めたほか、以下の行事等においても協会の活動内容について説明・周知した。

○ 県内大学の留学生向けオリエンテーション

令和7年4月3日（木）15:30～16:10 国際教養大学 対象者122名

〃 4月4日（金）14:00～16:30 秋田大学 対象者 44名

〃 8月27日（水）13:30～14:10 国際教養大学 対象者163名

〃 9月26日（金）14:00～16:30 秋田大学 対象者 38名

○ 「JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）秋田」

令和7年8月22日（金）13:40～14:20

新任ALT向けオリエンテーション（秋田県庁で開催）

○ 「なんがい地域祭×国際フェスティバル in なんがい」へのPRブース出展

令和7年10月26日（日）9:00～15:00 大仙市南外コミュニティセンター

【協会ブースへの来訪者】38名

Ⅱ 理事会・評議員会の運営状況

1 理事会

(1) 第1回理事会（書面開催）

- ・決議があったものとみなされた年月日
令和7年4月15日（火）
- ・決議があったものとみなされた事項
 - ① 評議員会の決議の省略
 - ② 評議員会で決議すべき事項・・・理事2名及び監事1名の選任

(2) 第2回理事会（書面開催）

- ・決議があったものとみなされた年月日
令和7年5月1日（木）
- ・決議があったものとみなされた事項
 - ① 代表理事（理事長）の選定
 - ② 常務理事の選定

(3) 第3回理事会

- ・開催年月日 令和7年6月6日（金） 11:00～12:00
- ・決議事項
 - ① 令和6年度事業報告の承認
 - ② 令和6年度計算書類等の承認
 - ③ 定時評議員会の招集
- ・報告事項 理事長等の職務の執行状況
- ・出席状況 理事7名中4名出席、監事2名中2名出席

(4) 第4回理事会（書面開催）

- ・決議があったものとみなされた年月日
令和7年6月24日（火）
- ・決議があったものとみなされた事項
 - ① 代表理事（理事長）の選定（重任）
 - ② 代表理事（副理事長）2名の選定（重任）
 - ③ 常務理事の選定（重任）

(5) 第5回理事会（書面開催）

- ・決議があったものとみなされた年月日
令和7年7月14日（月）
- ・決議があったものとみなされた事項
 - ① 評議員会の決議の省略
 - ② 評議員会で決議すべき事項・・・評議員1名の選定
 - ③ 「育児・介護休業等に関する規程」の改正

(6) 第6回理事会（書面開催）

- ・決議があったものとみなされた年月日
令和7年10月24日（金）

- ・決議があったものとみなされた事項

- ① 評議員会の決議の省略

- ② 評議員会で決議すべき事項・・・監事1名の選定

(7) 第7回理事会

- ・開催年月日 令和8年3月12日（木） 11:00～12:10

- ・決議事項 ① 新たな中期活動計画の承認

- ② 令和8年度事業計画の承認

- ③ 令和8年度収支予算案の承認

- ・報告事項 理事長等の職務の執行状況

- ・出席状況 理事7名中5名出席、監事2名中2名出席

2 評議員会

(1) 第1回評議員会（書面開催）

- ・決議があったものとみなされた年月日

- 令和6年4月24日（木）

- ・決議があったものとみなされた事項

- 理事2名及び監事1名の選任

(2) 第2回評議員会

- ・開催年月日 令和7年6月24日（火） 11:00～12:00

- ・決議事項 ① 令和6年度計算書類等の承認

- ② 評議員の選任

- ③ 理事・監事の選任

- ・報告事項 ① 令和6年度の事業実績

- ② 令和7年度の事業計画及び収支予算

- ・出席状況 評議員7名中5名出席、理事7名中2名出席

(3) 第3回評議員会（書面開催）

- ・決議があったものとみなされた年月日

- 令和7年7月22日（火）

- ・決議があったものとみなされた事項

- 評議員1名の選任

(4) 第4回評議員会（書面開催）

- ・決議があったものとみなされた年月日

- 令和7年11月4日（火）

- ・決議があったものとみなされた事項

- 監事1名の選任

Ⅲ 運営体制の充実を図るための取組

1 理事、監事、評議員の選任

(1) 新たな理事・監事の選任

令和7年3月末日をもって常務理事及び監事1名が、同年4月末日をもって理事長がそれぞれ辞任したことから、年度当初の当法人の運営や協会事業の遂行等に支障をきたさないよう、次のとおり速やかに後任を選任した。

- ・代表理事（理事長） 秋田県知事 鈴木 健太（5月1日付）
- ・理事（常務理事） （公財）秋田県国際交流協会事務局長 鎌田 雅人（5月1日付）
- ・監事（外部監事） （地独）秋田県立病院機構理事長 清水 宏明（4月24日付）

また、令和7年10月1日に監事1名が辞任したことから、次のとおり後任を選任した。

- ・監事（外部監事） 株式会社北都銀行常務執行役員 安達 光（11月4日付）

(2) 新たな評議員の選任

令和7年度中に評議員1名が退任、もう1名が辞任したことから、当法人を所管する行政庁（秋田県）の助言等も得たうえ、それぞれ次のとおり後任を選任した。

- ・小玉 英子 小玉醸造株式会社海外流通室長（6月24日付）
- ・坂本 雅和 秋田空港ターミナル株式会社専務取締役（7月22日付）

2 役員への情報提供等

協会が実施する公益目的事業のうち主要なものについては、実施概要を報告書として取りまとめ、その都度、各役員へ情報を提供した。

- あきた国際フェスティバル2025 令和7年10月5日（会場：秋田市） p.9に記載
- 中国甘肅省技術研修員受入事業 令和7年9月18日～10月18日 p.10に記載

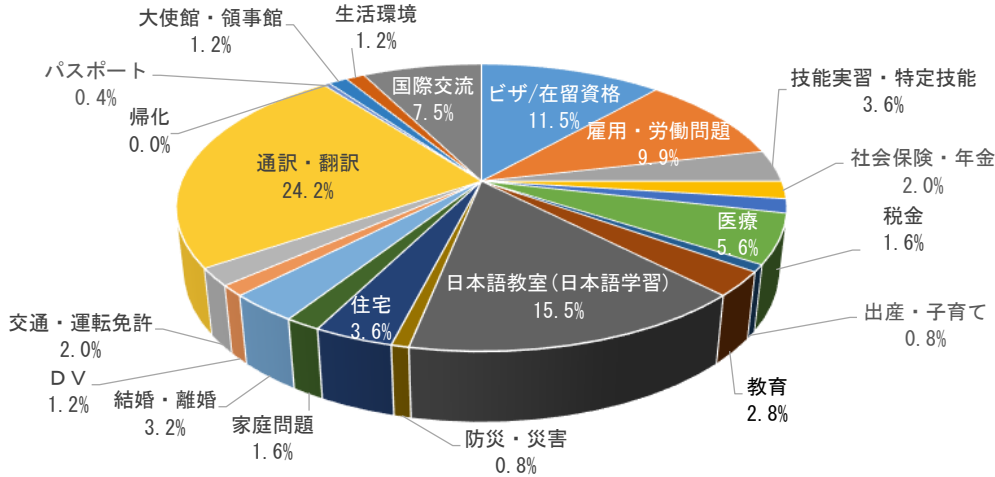
外国人相談センターにおける相談状況

【令和7年4月～令和8年3月】

1 相談受付件数と相談時の言語

中国語	英語	韓国語	日本語	その他	相談受付件数
3	44	0	278	0	325

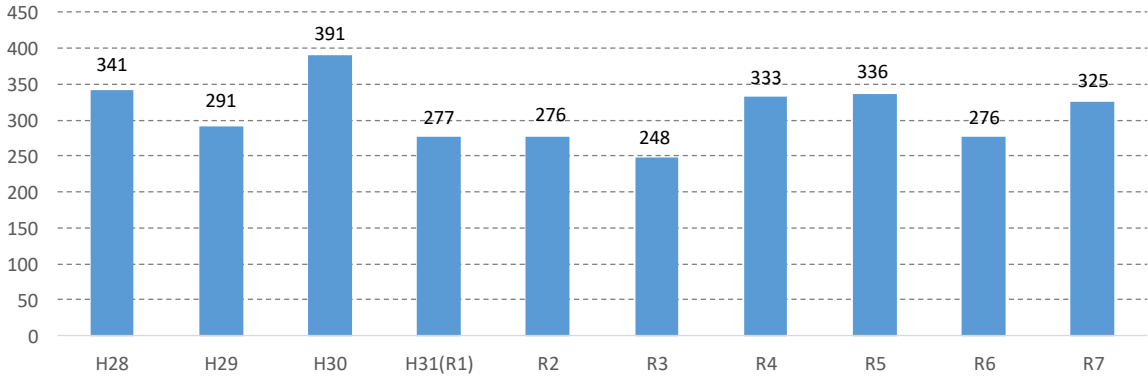
2 相談内容の内訳（分類「その他」を除く）



分 類	内 容	件数
ビザ（査証）/在留資格	査証（ビザ）に関すること、在留資格に関すること	29
雇用・労働	雇用保険、失業手当、賃金未払い、超過労働、求職など	25
技能実習・特定技能	技能実習・特定技能に関すること	9
社会保険・年金	社会保険や年金に関すること	5
税金	税金に関すること	4
医療	外国語対応の病院、医療機関の受診に関すること	14
出産・子育て	出産・子育てに関すること	2
教育	義務教育への編入、進学に関すること	7
日本語教室（日本語学習）	日本語教室や日本語学習に関すること	39
防災・災害	防災・災害に関すること	2
住宅	住宅、住居に関すること	9
家庭問題	家族や親戚との関係、介護、相続関係など	4
結婚・離婚	国際結婚、離婚に関すること	8
DV	DVに関すること	3
交通・運転免許	交通事故、運転免許に関すること	5
通訳・翻訳	通訳、翻訳相談	61
パスポート	パスポートに関すること	1
帰化	帰化に関すること	0
大使館・領事館	領事サービスに関すること	3
生活環境	転入、ごみの出しかたなど	3
国際交流	協会事業、県内の国際交流について	19
その他	外国人コミュニティ、ネットワーク団体など	208
合 計		460

【注】一つの相談案件に複数の言語や分野が含まれているため、相談受付件数の合計とは一致しない。

3 相談件数の推移（過去10年間）



地域外国人相談員の活動状況（地区別相談件数）

【令和7年4月～令和8年3月】

（単位：件）

相談分野			地区名	鹿角 小坂	大館 北秋田	能代 山本	男鹿 南秋	秋田	本荘 由利	大曲 仙北	横手	湯沢 雄勝	合計
1	ビザ・在留資格			1									1
2	パスポート							1					1
3	帰化等				1								1
4	法務局												
5	雇用・労働						1		3	3			7
6	医療						1	3			1		5
7	社会保険・年金												
8	出産・子育て				1			1					2
9	教育	義務教育 (小・中学校)			8				1				9
		義務教育以外 (未就学・高校等)			1					1			2
10	日本語教室 (日本語学習)				16	5			1	14	4		40
11	通訳・翻訳				2								2
12	交通・運転免許									1			1
13	家庭問題							4	1		5		10
14	結婚・離婚							1			12		13
15	DV							4	1		1		6
16	生活環境				1					1			2
17	税金												
18	防災・災害								1				1
19	住宅							2					2
20	技能実習・特定技能				4	1				5			10
21	国際交流								4				4
22	ウクライナ関係												
23	その他			2	5			8	5	4	1		25
	キーワード		航空券手配トラブル、同国出身者との交流希望、高校からの講師依頼×2、YSCグローバルスクール代表による面談希望、警察署からの面談希望、日本語学校求人×2、紛失物対応×2、観光、講演依頼、性に関する問題、狩猟免許等について、熊駆除の提案について、ロータリークラブ、中国名のカタカナ										
合 計			0	3	39	8	24	17	29	24	0		144

※1 相談の内容にかかわらず、電話や日本語教室などで相談を受けた場合は1件とカウントしている。

※2 相談分野に当てはまらない場合は「その他」へ分類している。

国際活動助成金交付事業の実績

No	団体名	事業名	実施地域	事業概要	参加者数(人) (うち外国人住民)	助成額 (総事業費) (円)
1	grass-hopper	異文化交流事業	大仙市	5月、9月、2月の3回にわたり、市内において、アメリカやトリニダード・トバコ出身の外国人住民による料理教室を開催したほか、地元の高校生らの協力の下、カリグラフィーを制作するイベントなども行った。	延べ55 (30)	50,000 (100,000)
2	African Association in Akita	アフリカデー2025 文化と連帯の祭典	秋田市	アフリカ・デー(5/26)にちなんで、アフリカ文化への関心と理解を深めてもらうため、アフリカ料理の提供のほか、アフリカの音楽・リズム、踊りの披露や衣装などの紹介を行った。	57 (25)	49,740 (155,000)
3	Warga Indonesia Raya Akita	日本・インドネシア文化交流イベント 開催事業	秋田市	インドネシアの文化について親しんでもらうため、8月に同国の出身者がインドネシアの歌や舞踊、楽器演奏を中心としたコンサートを開催したほか、インドネシアに関するクイズ大会を行った。	250 (150)	50,000 (145,000)
4	大仙市国際交流協会	だいせんバスツアー 2025	大仙市	市内在住の外国人住民と一般市民が参加するバスツアーを10月に催行し、市内の公園で「鍋っこ」を行ったほか、花火文化の資料館の見学や地域の祭りである「四ツ屋まつり」に参加した。	延べ54 (13)	50,000 (90,000)
5	国境なき話し手	交流KIZUNA	由利本荘市	地域に住む外国人住民(ALTなど)を講師に招き、10月、12月、2月の3回にわたり、市内の会場で母国の料理を紹介したり、中国茶の歴史や文化を学び試飲する会などを開催した。	延べ46 (延べ6)	50,000 (83,000)
6	台湾華語講座	台湾納涼会2025 IN AKITA	仙北市	台湾出身者を講師として、9月に市内のレストランを貸し切り、水餃子など台湾の代表的で簡単に作れる料理を参加住民と一緒に作り会食・歓談した。	20 (1)	49,077 (100,000)
7	秋田おやこ劇場	アフリカの音楽、ダンスを知ろう！ 親子で一緒に楽しもう！	秋田市	3月に、アフリカン・ダンスの公演を中心に、アフリカに係る絵本の朗読やクイズ、太鼓の演奏を行ったほか、参加者全員でアフリカン・ダンスを体験するイベントを開催した。	65 (10)	50,000 (80,000)

※総事業費については千円未満を切り上げて表示

(公財)秋田県国際交流協会 賛助会員(団体)一覧

令和8年3月31日現在

	団体名
1	秋田県国際交流議員連盟
2	秋田テレビ株式会社
3	株式会社エフエム秋田
4	秋田朝日放送株式会社
5	YURIホールディングス株式会社
6	株式会社秋田銀行
7	S M B C 日興証券株式会社秋田支店
8	株式会社のとや
9	株式会社 J T B 秋田支店
10	株式会社東北iツアーズ
11	有限会社秋田県映画センター
12	株式会社秋田ケーブルテレビ
13	株式会社秋田放送
14	株式会社秋田魁新報社
15	秋田日米協会
16	株式会社渡敬
17	株式会社北都銀行
18	辻・本郷税理士法人秋田事務所

	団体名
19	株式会社塚田美術印刷
20	厚生ビル管理株式会社
21	秋田ゾンタクラブ
22	株式会社秋田スズキ
23	株式会社那波伊四郎商店
24	株式会社イノベーション・ワークス
25	株式会社秋田東北ダイケン
26	行政書士・清水俊明法務事務所
27	株式会社アートシステム
28	日本国際連合協会秋田県本部
29	株式会社 エデュケーション・ジェイムズ英会話秋田校
30	ブルースタイル沖縄株式会社
31	株式会社サキガケアドバ
32	株式会社LOHASTYLE
33	株式会社アドアニモ
34	株式会社ふるさと本舗
35	株式会社あきた創生マネジメント
36	有限会社おーがすと

事業報告の付属明細書について

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する
「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません